平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	横須賀三浦地域農業改良普及センター
３９ ※記入不要		

要望問題　ナモグリバエの総合防除法の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

三浦半島において平成 14 年度より大発生したナモグリバエは、ダイコンにおいては葉のみの被害で、その被害葉は出荷時に切ってしまうこと、キャベツにおいてはほとんど外葉のみの被害で、その被害葉は出荷されないことなどから、防除はほとんど行われなかった。そのこともあり、平成 15 年度にはさらに大発生を招き、ダイコンにおいてはひどく食害されたものについては、収穫前に落葉し根肩部傷の原因となっており、また需要は少ないが葉付きダイコン出荷が難しい状況となっている。キャベツでは外葉のみでなく出荷葉にも吸汁痕が残り出荷できない例もでてきている。しかし、登録薬剤についてはダイコンに１剤あるだけで、登録農薬拡大と総合防除法(効率的防除法、耕種的防除法など)の確立が望まれている。なお、平成１５年度に、農業環境部に薬剤効果試験を行っていただき参考になったが、さらなる試験をお願いしたい。

管内作付け状況(Ｈ１４、神奈川農林水産統計年報ほか)

作物名	ダイコン	キャベツ
作付面積(ha)	812	980

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　(①、②、④の場合)
病害虫の診断．同定及び防除対策の確立

対応の内容等

薬剤の効果試験については、平成 15 年度に実施した試験の補完試験、今後行っていきます。

なお、発生生態等について、平成 16 年秋より所内秋作ダイコン、キャベツで発生消長を確認予定です。

また、ハモグリバエ関係で先進の研究を行っている、京都府、宮崎県と情報交換を行い、全国的に解明されていない夏期での行動を調べると共に、県内関係者に情報提供を行っていきます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	